■170216 SUSPONシンポジウムスポーツを通じた持続可能な社会づくりへの挑戦~2020年オリンピック・パラリンピックを越えて~

「ロンドン・リオ視察から見た東京大会への提言」

崎田 裕子

NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長 ジャーナリスト・環境カウンセラー

ロンドン視察から見えてきた未来への「レガシー」2014実施

「ロンドン2012」大会の規模は?

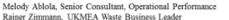
ARUP

再開発総面積7km 競技場数31 大会関係者28万人 チケット購入者1,100万人食事の用意1,550万食 オリンピックと持続可能性の関係は?

1994年IOCはオリンピック精神「スポーツ」 「文化」に加え、「環境」を第3の柱と宣言!

ロンドン大会は「地球一個分の暮らし」をテーマに 「環境」だけでなく「持続可能性」を視野に開催











ロンドン2012大会の持続可能な理念・計画・基準づくり

ロンドン・オリンピック&パラリンピック組織委員会2007「持続可能性計画」

- ①気候変動への対策
- ②廃棄物の最小化
- ③生物多様性の保全
- 4インクルージョン社会的包括性
- ⑤健康な生活

「ロンドン2012サステナブル イベントガイドライン」2009

「持続可能な調達基準」 包装材・フードビジョンなど

- ▶例えば、物品・サービスの調達基準
- 1. どこで作ったか? (まず地域産・国内産)
- 2. 誰が作ったのか?3. 何でできているか (リユース・リサイクル可?)4. 包装材は? 5. 使用後の再使用は?再利用は?
- ▶国際イベントマネジメントシステムISO20121へ
 - ■フードビジョンを実現する指針
 - ①地元産(輸送CO2削減) ②持続可能な農業
 - ③オーガニック ④季節の野菜 ⑤フェアトレード
 - ⑥栄養バランスに優れたメニュー

「レッドトラクターマーク」

「海のエコラベル・フェアトレード・FSC認証」





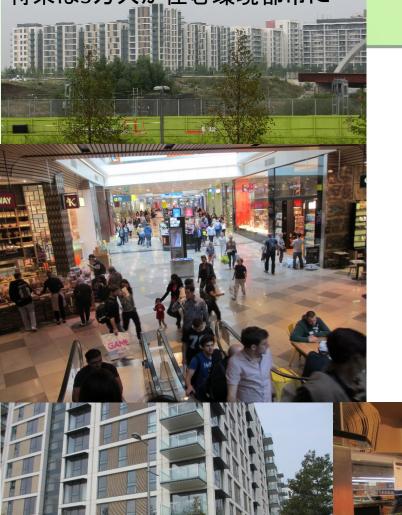








17,000人が滞在した選手村を 2,800戸の賃貸住宅に改修 将来は3万人が住む環境都市に



持続可能な社会に向けて、メガイベントの果たす役割 「オリンピックのレガシー」は未来への懸け橋!

▶「ロンドン2012のレガシー」とは、「オリンピックの成果の活用」ではなく、「持続可能な社会実現の好機」として戦略的に計画。 事業者、市民、NGO共にくらしを豊かにする社会システムを創造。

▶「共に創り上げた」成果をレガシーとして誇りを持って活用。 例えば、メイン会場はオリンピックパークとして。 選手村は新しい子育て世帯の集う活力あるまちとして。 街には認証食材を扱う店や、自転車通勤・スポーツする人も増加。

東京大会を、次の暮らし・仕事・街づくりをみんなでめざす契機に!





参考:ロンドン視察報告

「みんなで創る オリン ピック・パラリンピック」

(崎田裕子・鬼沢良子・足立 夏子: NPO法人持続可能な 社会をつくる元気ネット 編 著・松田美夜子監修・ 環境 新聞社 2015) http://www.genki-net.jp/

4



基本理念は持続可能性 総合力を高めた4ポイント

- ■ポイント① 【理念と目標を明確に持ち、持続可能性専門チームを設置】 持続可能性を重視し、施設建設から運営すべてに組み込むため、5部門(スタッフ15人+ボランティア15人)の専門チーム設置
- ■ポイント②【持続可能なイベントの評価基準としてマネジメントシステム導入】 国際イベントマネジメントシステム ISO20121へ発展 20万人の大会関係者が達成目標(低炭素・ごみゼロ等)を共有
- ■ポイント③【持続可能性基準を関係者に浸透させる研修の徹底】 成果として関係者20万人+ボランティア7万人からアイデア続々
- ■ポイント④【民間・NGO・市民との共創】 民間の知恵を活かし、新たな挑戦に踏み出す 食料調達のパートナー「ISEAL国際社会環境認定表示連合」 廃棄物チームのパートナー「WRAP」 7万人の市民ボランティアが「ゲームメーカー」に

ごみゼロ戦略とレガシーの創出



London 2012 zero waste results

Athletic equipment was donated to UK athletics; portable basketball Re-use floor went to Great Britain Basketball, tennis balls went to Battersea Dogs Home; and timber from staging was salvaged. Food and drink packaging was clearly labelled to help consumers Recycling know which bins to use; and Coca Cola bottles were recycled into new bottles within weeks of being discarded. Major food suppliers, such as McDonald's, were required to use Composting compostable packaging where appropriate; and manure from equestrian events was used by local horticultural associations. Items unable to be re-used, recycled or composted were sent to **Energy Recovery** energy recovery, including contaminated plastics, shrink wrap (back of housel, crisp packets, individual milk jugs, napkins, sugar, salt and pepper sachets, etc. Clear signage on front of house and back of house waste containers Communication matched that on food packaging; and call to action signage was located around the sites.





総ごみ量を入場者1000万 人で割ると1人850g

Re-use	1,716 t
Recycling	2,908 t
Composting	1,706 t
Energy recovery	3,795 t

資料:WRAP

後利用を考えた施設整備続く大会後の競技施設の改修工事





8万人収容のメインスタジアムは2.5万人収容のフットボール・サッカー場に改造中 ➡解体した鉄柱は、橋梁工事で再使用予定



- ➤競技施設の2/3は一時的に建設 (バスケ会場などは、今はない)
- ▶実施後、競技施設の1/3は地域に合う ように規模を小さく改造して活用
- ▶浚渫、拡幅工事で蘇ったリー川
- ▶ドッグ建設によりトラック輸送を削減

イベント運営のごみゼロ戦略

- ▶運営中の食料容器包装・装飾品など、すべての関係者を巻き込んで、リサイクルの環をつなぐ
- ▶EUの循環政策に合わせて、
- 1. そもそもごみを出さない 2. 再使用 3. リサイクル/コンポスト 4. エネルギーリカバリー 5. 埋め立て
- テイベントごみって何だろう? 関係者・NGOで考え⇒サイクルビジョン作成のため予想・計測・報告・検討

目標は「埋め立てごみをゼロに」



- ▶多様なごみ削減ガイダンスを作成
- ▶持続可能な資源調達規則~環境、社会、倫理的側面を踏まえて
 - 一時的な施設の資源をどう選択する? まず備品購入の素材は?
- ▶容器包装と消費に関する仕様書
 - ~WRAPと容器包装企業の先進的取り組み
- ▶ロンドン2012フードビジョン
 - ~食品調達に関する規則 ~40を超える料理の1400万食

wrap

Streaming in all areas









食料調達と食品ロス削減とレガシー構築に向けて2012ロンドン・オリンピック・フードビジョン

- ▶関連施設で、期間中に1550万食分を調達して準備
- ▶目標は最低と最高を設定(品目は、肉・魚・コーヒーなど多種)
- ①最低目標はレッドトラクターマークの食材であること (イギリスの食品は、トレサビリティーの遵守を求められている。)
- ②重視する3つの認証 (国際社会環境認定表示連合ISEAL が協力)

FSC認証



海のエコラベル



2017 YUKO SAKITA & NPO GENKI Net for Creating a Sustainable Society

フェアトレード



食品ロス・食品廃棄物の削減

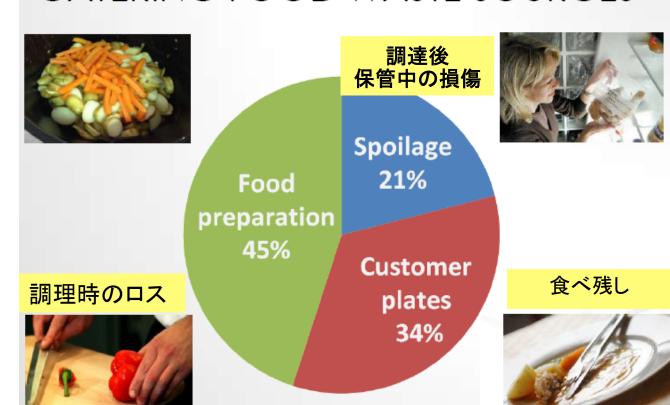
ロンドン大会 77日間

- ●来場者 1,000万人
- ●関係者合計 28万人 ボランティア 7万人 選手(200ヵ国)15,000人
- ●食事の用意 1,550万食



ロンドン2012大会の食品廃棄物の発生源 ~保管・調理・飲食~

CATERING FOOD WASTE SOURCES



「フードビジョン」をレガシーに



「2012ロンドン・フードビジョン」をロンドン市持続可能な食物戦略に組み入れ。

- 自主的取り組みとしてNGOと政府が協力。HAFS協定を関係団体・業界と合意。
- ☞2014~2015の2年間、モデル実験を実施。報告書は2016年7月に発行。
- ★HAFS「おもてなしと食品サービス産業の食品廃棄物削減」協定 (データは2014年WRAP調査を活用)
- ●期間2015年~2025年 ●対象 9業種230社、英国全土
- ●協定参加9業種(2015年まで毎週50kg排出事業者、2016年から毎週5kg対象)
- ①レストラン ②テイクアウト(ファストフード店等) ③パブ(お酒と食事)④ホテル
- ⑤レジャー(博物館・映画館・スポーツクラブ・イベント会場・鉄道・道の駅・空港)
- ⑥社員食堂 ⑦病院等施設 ⑧教育施設(小中高大、研修施設等) ⑨サービス(官公庁・自治体・消防所等)
- ●英国食品サービス企業の無駄なコスト。2011年25億ユーロ(3500億円)2016年までに30億ユーロになると予測。
- ●2年間のモデル実験成果 CO2削減3.6%、ごみ削減5%(1万5000t) ➡ごみ処理費360万ユーロ節約

ロンドンのくらしに根付くエコライフ 大会後の小売店には、オーガニック食品や発生抑制の取り組みが



リオ2016パラリンピック視察報告2016. 9 「持続可能な未来へのレガシー」



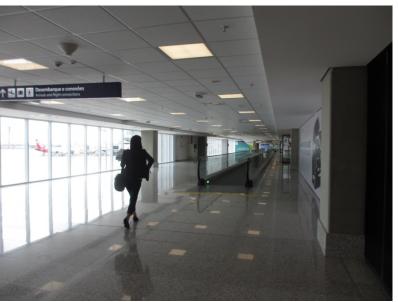


- ■PART1 オリ・パラの規模・全体像を体感す
- ■PART2 持続可能性・3Rの状況を体感す
- ■PART3 パラリンピックの意義を体感する

PART1オリ・パラの規模・全体像を体感する

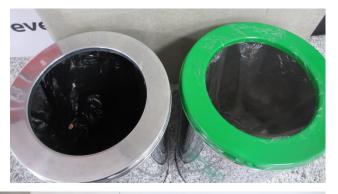
1一①空港から始まるおもてなし

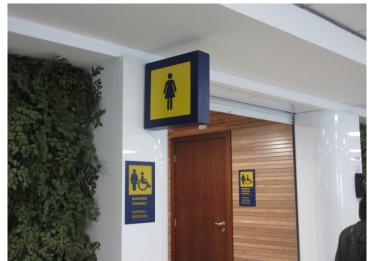
2017 YUKO SAKITA





お手洗い・飲料表示の統一 ユニバーサルデザイン リサイクルする物・しない物











1-②オリンピックパークなど

仮設・恒設 賢く整備

選手村

アクアティックスタジアム 解体後は二つの水泳場に 37施設のうち既設19、 新設18、(恒設10、仮設8)



↑公共交通BLTのカード





カリオカアリーナ

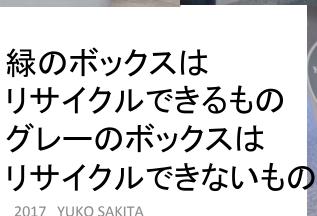
PART2 持続可能性・3Rの状況を体感する2-①資源管理 開会式のマラカナン競技場



8万人収容 世界最大級の サッカースタジアム













2-②資源管理 オリンピックパークも2分別

2分別のボックスを 会場内に設置 ボックス管理は地元 ピッカーの方々を雇用

街には3~4分別も存在!





2017 YUKO SAKITA

2-3食・飲料&容器は快適生活の鍵

・観客の食事はバーガーのみ

・飲料容器リユース&包装削減がポイントに

・食品ロス削減は選手村が重要に

- 公式ショップにはリユースボトルが





ボトルを 販売 STAR NA

PARALIMPICO

2-4ボランティア研修の重要性



会場・街の誘導ボランティア 多くの市民の参加が支え オリンピック期間は休校になり、多くの 学生が参加。パラリンピックは休校が 終了し、街の誘導ボラは激減とのこと。





国籍・言語・障害・年齢・文化を超えて「多様な個性が輝く」社会へ リオ2016



無関心からの 脱却につなぎ t-LN 2017 YUKO SAKITA









▲崎田裕子・鬼沢良子・足立夏子編著 (NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット) 松田美夜子監修 (生活環境評論家)

「東京2020大会への提案」

- ①目標を明確にして持続可能性専門チームを設置
- ②評価基準となるマネジメントシステムを導入
- ③持続可能性基準を浸透させる人材育成研修の徹底
- ④民間・NGO・市民との共創の明確化

「みんなで創る オリンピック・パラリンピック」(2015環境新聞社)



「2020とその後を 見据えて提案する 東京オリンピック・ パラリンピック 共創ロードマップ」

2015年「街づくり・持続可能性 委員会」に提案

NPO法人 持続可能な社会を つくる元気ネット

みんなで創る「東京2020大会」と持続可能なレガシー

■IOC2014年12月採択 「オリンピック・アジェンダ 2020」

オリンピック競技大会の総ての 側面に持続可能性を導入する。 オリンピック・ムーブメントの 日常業務に持続可能性を導入 する。 <東京2020大会ビジョン>

スポーツには、世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020年の東京大会は、

「すべての人が自己ベストをめざし(全員が自己ベスト)」、

「一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)」、

「そして、未来につなげよう(未来への継承)」を3つの基本コンセプトとし、 史上最もイノベーティブで世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

「街づくり・持続可能性」専門委員会アクション&レガシープラン検討_

「持続可能性」ディスカッションG 「運営計画」「調達コード」等検討 提案募集も実施

「持続可能性に配慮した運営計画 フレームワーク」〈東京2020大会が目指すべき持続可能性の方向〉

- ●環境だけでなく、社会、経済の側面を含む
- ●東京の特徴を活かす。充実した都市基盤・安全性、おもてなし・もったいないといった日本的価値観、 最先端テクノロジー(より高度な省エネ・再エネ・リサイクル等環境対策<u>技術)の活</u>用など

運営計画 5つのテーマ

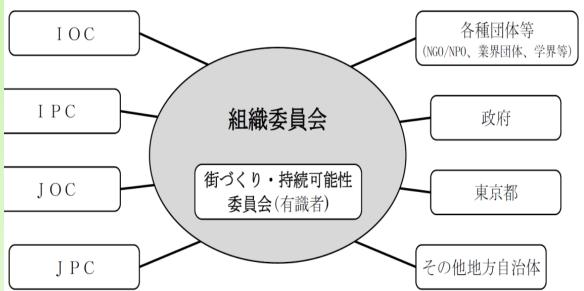
- ①気候変動 (低炭素WG)
- ②資源管理 (資源管理WG)
- ③水•緑•生物多様性
- ④人権・労働・公正な事業慣行等への配慮NPO GENKI Net for のオリンピック大会影響調査
- ⑤参加・協働、情報発信(エンゲージメントst) in able Society

計画実現に活用する3つのツール

- ⑦持続可能なイベントマネジメント システムISO20121

23

持続可能性に配慮した運営計画第一版 2017.1



~検討体制~

街づくり・持続可能性委員会

街づくり分野

持続可能性分野

ディスカッショングループ

(専門委員会委員・その他有識者・都・国)

街づくり DG スポーツと会場エリア に関する DG 持続可能性

~運営計画 5つのテーマ~

- ①気候変動 (低炭素WG)
- ②資源管理(資源管理WG)
- ③水•緑•生物多様性
- ④人権・労働・公正な事業慣行等への配慮
- ⑤参加・協働、情報発信(エンゲージメント)

ワーキンググループ

(DG 委員・その他有識者・都・国)

低炭素 WG 持続可能な調達 WG 資源管理 WG

定量的目標や具体策を入れた第二版を2018年1月頃発表予定

東京2020の「3R・資源管理」と「レガシー」一覧2017. 0216

		会場内&選手村	(&キャンプ地)		会場外	レガシー
	会場整備等	都市鉱山回収で リサイクル100% 入賞メダル製作	後利用を確保した 什器・会場装飾等 物品調達と リユース・リサイクル	聖火のバイオ 燃料活用 (NGO提案)		★都市鉱山回収 京都マラソン実施 ★後利用考えた 調達とリユース
<u>J</u> [持続可能性 (3R) ボランティア	3Rボランティア 研修方針策定と システム開発	再生資源(ポリエス テル)活用の ユニフォーム			★若者のボラン ティア参加
	運営上の リデュース リユース	食品調達と 食品ロス削減 (フードビジョン)	リユースカップ 活用した ごみゼロ運営 (NGO提案)	使い捨て削減 ・レジ袋 ・容器包装 ・カトラリー	・食品ロス削減・レジ袋有料化	★食品ロス協定★大規模イベントのごみゼロ運営
	運営上の リサイクル	資源分別回収 と適切な表示 (ピクトグラム)	食品廃棄物 の分別回収と 循環利用	バックヤード での分別徹底	ペットボトル回収&ボトルtoボトル資源分別表示	ペットボトル回収&ボトルtoボトル資源分別表示
	適性処理 ,	食品廃棄物のエネルギー活用	各会場からの 適正排出	23区・都内外での適性処理		

※緑は実施中・具体策調整中、 黒は検討中、 赤は今後検討の項目。

東京2020の「気候変動」「自然」と「レガシー」一覧2017. 0216

		会場内&選手村	(&キャンプ地)		会場外•交通	レガシー
1	施設• 会場整備等	大会車両の 燃料電池車導入 福島の再エネで CO2フリー水素	新規恒久施設の 省エネ化の徹底 などグリーン調達	選手村などの 省 エネ機器導入な どグリーン調達	公共交通機関の 活用に向けた整備	★選手村の水素 活用による再開発 ★省エネ施設建設
J	持続可能性 ボランティア	ボランティアによ る環境情報発信	ボランティアによる 環境学習推進			★若者のボラン ティア参加
	運営上の 省エネ 再エネ	全エネルギーの グリーン化				★メガイベントの エネルギーの グリーン化
	CO2 見える化 定量化・相殺	カーボンフット プリントの継続的 算出と公表	競技施設内のCO2 対策の分かりやす い発信・見える化	カーボンオフセットによる排出した CO2の相殺	熱中症対策で 日陰づくりや 遮熱性舗装など	・CO2の見える化 ・カーボンオフセット への市民参加
	大気·水·緑· 生物多様性	お台場海浜公園 の水質改善(雨 水貯留等水対策	おいしい水の提供・水と緑の魅力ある 景観	化学物質対応 低VOC・ノンフロ ン・低公害調達	海の森公園整備緑の東京募金による街路樹の管理	★葛西海浜公園 のラムサール湿地 登録へ(NGO提案)

※緑は実施中・具体策調整中、黒は検討中、赤は今後検討の項目。

170210

東京2020の「人権・労働」「参加・協働、情報発信」と「レガシー」一覧17. 0216

	会場内&選手村	(&キャンプ地)		会場外	レガシー
施設・ 会場整備等 の取り組み	アクセシビリチィー・ ガイドライン策定し施 設整備・スタッフ教育	障害者や育児中の 親の観戦に配慮 した会場整備			ユニバーサルデザ イン等インクルー ジョンへの配慮
準備・運営上 の取り組み	職員への持続可能 性研修で意識改革と 労働環境の整備	選手村・競技場で 宗教・文化に配慮 した料理の提供			労働環境や 多様性への配慮
持続可能性 ボランティア 育成・研修	ボランティア8万人・ 東京都ボランティア 1万人の研修				若人の社会参加
参加·協働 情報発信	街づくり・持続可能性 委員会・DG・WG NGO学識・都・国連携	青少年の大会参加 ・小中高生対象ス ポーツと環境学習		東京2020参画 プログラム展開で 持続可能性浸透	世界の子ども若者 と交流・ESDと連携 した普及啓発
実現と 影響調査 、	持続可能性に配慮した調達コード基本原則・木材・食料	ISO20121の 導入による 適切な運営確保	環境アセスメント (東京都)大会前 中後の予測評価		OGI調査 環境・社会文化・ 経済の影響調査

※緑は実施中・具体策調整中、黒は検討中、赤は今後検討の項目。

脱炭素都市へ・東京2020選手村の水素等エネルギー活用の期待

Sustainable Society

- 大会後に改修し5650戸の街に ※東京都市街地再開発事業
- 賃貸•分譲5650戸
- ・ 高層棟は50階建て
- 他は14~18階建て
- ★分譲棟住戸に家庭用燃料電池
- ★高齢者・若者・外国人など多様な ライフスタイルを支える街に





循環都市へ「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」 私たちの使っている携帯電話は、鉱山の金含有率の80倍・銀は9倍。 世界的に資源の効率的活用が課題の今、メダルのための 携帯や小型家電を回収をする初の大会に!

- ●国民参画の観点 日本全国の方々が東京2020大会に参画
- ●リサイクルの観点 一回限りの運動ではなく、東京大会後へ
- 〇大事な視点

- ロンドン2012のメダル
- 金銀銅メダル各1666個に必要な金・銀・銅・亜鉛・錫・合計2t(材料ロス含め約8t)
- ・リサイクル材の回収・処理・精錬・納品まで一括管理し、トレサビリティーが必要。
- ★循環都市へ「選手村・競技場の食品ロス削減」「リユース食器」など3Rの提案中!





★東京2020への「参画プログラム」は色々。

企画提案・実施や参加など、可能性は広がる

─東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会HPから

2016年度NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット検討会合東京2020大会の「ごみゼロ戦略」を考える 地球環境基金助成事業①都市鉱山メダル・リュース食器 ②食品循環 ③④食品ロス ⑤資源循環・適正処理

- ~第3-4回食品ロス削減をデザインする~
 ■食品ロス削減の住組みをどうつくるか?
 - ●適切な食材調達・保管
 - ●調理時のロス 削減
 - ●食べ残し 削減 (調理側・食事側)
 - ●効果をどう見える化、定量化するか?
 - ●仕組みを関係者が実施するよう、どう担保するか?
- ■発生する容器包装ごみをできる限り削減するには?
- ■サプライチェーン・小売り・消費者への効果的な情報提供は?
- ■レガシーとして2020年以降の社会にどう活かす?

2020とその先の持続可能な社会への「レガシー」PDCAロードマップ

福井国体でメガ スポーツイベント での事前実施 をしては?

ラグビーワールド カップをプレ大会 として実施。その 反省を活かす

東京大会実施。 取組の社会への 情報発信。成果の 見える化・定量化

東京大会

プレ実施

2019CHECK

2020 ACTION!

キャンプ地での 取り組み

持続可能性に 関する目標等 詳細検討時期

2017 PLAN

201800

詳細目標入れた 運営計画第二版 世界に東京大会 の低炭素・資源 管理·分別方法 の発信を開始

東京大会の成果 を「レガシー」とし て社会で共有。

持続可能性

運営計画第一版

「持続可能な開発目標(SDGs)」視野に見すえる未来

^

2015年9月NY国連本部で「国連持続可能な開発サミット」開催。

★「世界を変革する 持続可能な開発のための2030目標」を採択。

17目標と

DEVELOPMENT COMPANY

169ターゲット

国連広報センター HPより 世界を変えるための17の目標







































京都市内で19日に開催される「京都マラソン2017」で、



フードバンク通じ 困窮者や福祉施設へ

「環境配慮の大会」京から疾走!

実行委と協力企業が協定

小型家電から金メダル 五輪に先駆け来年から



馬AXに必めNPO GENKI Net for Creating a 京 立 最 is 機 inable Society

市民・事業者・行政の -への第一歩 は始まっている

京都マラソンで メガイベントの持続可能性 具体化へ